

{ 11月に予定されているセンターのイベント情報  
や、その他のお知らせについてご案内します。 }

### 管理用木道が新たに延長されました!!

センターを訪れる来館者に大人気の木道が、この度新たに延長されました。

この木道は、漫湖に生えるマングローブを管理することを目的につくられた木道ですが、漫湖の自然や生き物に対する普及啓発を行う環境教育の場として、また都市の中の市民の憩いの場として、地域住民から地元の学校、一般の来館者まで幅広く利用できるようになっています。

10月27日(土)の完成記念イベント開催以降は、センター開館中であれば、自由に見学できるようになりますので、ぜひお立ち寄りください。



### 秋の「野鳥観察会」(主催：沖縄県)の参加者募集!

〔日 時〕 2012年11月3日(土) 14:00-16:00 (※受付は13:45~)

〔場 所〕 漫湖水鳥・湿地センター周辺

〔参加費〕 ¥100(※保険料として)

〔定 員〕 20名(※お申し込み先着順、定員に達し次第締め切り)

〔対 象〕 小学生~一般(※小・中学生は保護者同伴)

〔内 容〕 漫湖や豊見城市三角池周辺の野鳥観察を行います。

〔講 師〕 比嘉邦昭さん(沖縄野鳥研究会)

〔お問い合わせ〕

漫湖水鳥・湿地センター ☎098-840-5121

Topic :

{ いきものファインダー  
漫湖の風景 - 12 }



### 減多にお目にかかれない、ホシマダラハゼ。

今回は、9月に行われた『漫湖ミニ水族館』で展示された魚の中から、ホシマダラハゼという魚を紹介します。

このホシマダラハゼは、汽水域のマングローブ周辺に棲んでいて、夜に活発に活動し、日中は物陰に潜んでいるため普段は減多にお目にかかれません。しかも沖縄本島では生息数も少なく、ここ漫湖で稀に見つかる程度のとても珍しいハゼです。さらに体の大きさも日本最大のハゼ類で、成長すると40cmにもなるというから、その巨大さにも驚かされます。

漫湖で「ハゼ」といえば、トントンミーの愛称で親しまれるミナミトビハゼが有名ですが、水の中を覗いてみるとこんな驚きのハゼも棲んでいるのです。

9/11(火)～9/23(日)

特別企画展：

「漫湖ミニ水族館」

みなさんは、何種類ぐらいの魚が漫湖には棲んでいると思いますか？もしかしたら“汚い”というイメージが邪魔して、「魚なんてテラピアかボラぐらいでしょ。」という人も少なくないと思います。センターで働いていて、特に地元の人ほどその感覚が強い気がします。実際、泥干潟の上にゴミが目立つ漫湖は見た目の印象は決して良いとは言えません。しかし見えていないだけで、実際の水の中には魚がたくさん棲んでいる場所、ということを知ってもらいたくて「漫湖ミニ水族館」を開催しました。

ここで最初の質問に戻りますが、漫湖で見られる魚の種数の答え。正解は約100種類です。ただ、潮の干満の影響を受ける漫湖は、実際にはもっとたくさんの種類が利用していると考えられるそうです。ちなみに、今回の水族館で展示した魚の種数は、ハゼの仲間を中心に、海や淡水域で過ごす魚などを合わせて、全部で47種類でした。これだけでも意外な数字ではないでしょうか？その中にはいきものファインダーでも紹介したホシマダラハゼや、ミナミマゴチ、ヒメツバメウオなど、初めて見る魚の姿も。それ以外にも、成魚で約1cm程度しかないゴマハゼや、逆さまになって落ち葉や木の枝の下に隠れるヤエヤマノコギリハゼ。フグやヨウジウオなどの変わった体形の魚たちも見る事が出来ました。この貴重で愛らしい魚たちの暮らしを支えているのも、私たちの生活とつながっている漫湖の自然なのです。だからこそ、その大切さや素晴らしさを、より多くの人たちに知ってもらいたいと私たちは考えています。



背びれのトゲに毒があるゴマアイゴ



どこにいるか分かりますか？ミナミマゴチ



三角のかたちが特徴的なヒメツバメウオ



小さな水たまりでよく見かけるナミハゼ

■ 2012.9/1 — 2012.9/30

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 43 種 }

## 漫湖 寄鳥見鳥

## 漫湖で確認された鳥類一覧

9/22



## 1羽と1羽。

9月、立て続けに台風が襲ってきた沖縄。それでも晴れた日には、センター前の広場でビュンビュン飛び回るツバメを確認することができた。

沖縄では、春と秋に旅鳥として立ち寄るツバメと、留鳥として親しまれるリュウキュウツバメ。その違いを凶鑑などで知ってはいても、野外で飛び回っては見分けるのも結構難しいものだ。そんな中、必死に撮影した中のこの1枚。偶然にも、ちょうど1羽と1羽だ。鳥に詳しい人ならすでにお分かりかもしれないが、左がツバメで、右がリュウキュウツバメ、である。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1, ゴイサギ      | 26, チュウシャクシギ  |
| 2, ササゴイ      | 27, クロハラアジサシ  |
| 3, アマサギ      | 28, コアジサシ     |
| 4, ダイサギ      | 29, キジバト      |
| 5, チュウサギ     | 30, カワセミ      |
| 6, コサギ       | 31, ツバメ       |
| 7, アオサギ      | 32, リュウキュウツバメ |
| 8, クロツラヘラサギ  | 33, ツメナガセキレイ  |
| 9, ミサゴ       | 34, キセキレイ     |
| 10, ツミ       | 35, シロガシラ     |
| 11, オオバン     | 36, ヒヨドリ      |
| 12, シロチドリ    | 37, イソヒヨドリ    |
| 13, メダイチドリ   | 38, シジウカラ     |
| 14, オオメダイチドリ | 39, メジロ       |
| 15, ムナグロ     | 40, スズメ       |
| 16, ダイゼン     | 41, ハシブトガラス   |
| 17, キョウジョシギ  | 42, ドバト       |
| 18, トウネン     | 43, シマキンパラ    |
| 19, ハマシギ     | 44,           |
| 20, アカアシシギ   | 45,           |
| 21, アオアシシギ   | 46,           |
| 22, キアシシギ    | 47,           |
| 23, イソシギ     | 48,           |
| 24, ソリハシシギ   | 49,           |
| 25, ダイシャクシギ  | 50,           |

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。